

令和6年度 第2回

地域包括支援に関する会議

## 資料 3

### 3 議事

(1) 高齢者の権利擁護の推進について



## 「高齢者の権利擁護の推進について」

- 1 頁1 「養護者による高齢者虐待の状況」に見られる主な特徴
- 2 頁2 養護者による高齢者虐待の状況
- 3 頁3～4 虐待の状況分析
  - (1) 虐待者側の要因
  - (2) 被虐待者側の状況
  - (3) 家庭の要因
- 4 頁5～6 高齢者虐待の状況
  - (1) 養護者による高齢者虐待状況
  - (2) 養介護施設従事者等による高齢者虐待状況
- 5 頁7 「令和5年度養介護施設従事者等に対する高齢者虐待防止の取組みについて」
  - (1) 養介護施設従事者等による高齢者虐待（疑）の通報状況
  - (2) 養介護施設従事者に対する高齢者虐待防止の取組み状況

# 1 「養護者による高齢者虐待の状況」に見られる主な特徴

## (1)虐待通報件数及び認定件数

(件数)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
通報件数	200	236	322	372 (+15.5%)
認定件数	112	108	148	155 (+4.7%)

※( )内は前年度比

令和5年度は、通報件数・認定件数ともに増加した。

## (2)被虐待者の年齢別構成

(人数)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
65～69歳	5(4%)	7(6%)	11(7%)	7(4%)
70～79歳	43(38%)	29(27%)	58(39%)	51(33%)
80～89歳	56(50%)	62(57%)	67(45%)	85(55%)
90歳以上	11(10%)	14(13%)	15(10%)	12(8%)
合計	115	112	151	155

※( )内は合計に占める割合

被虐待者年齢別構成では、80歳以上が6割を超えている。

## (3)養護者(虐待者)の属性

(人数)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
夫	30 (25%)	27 (23%)	53 (34%)	67 (42%)
妻	6 (5%)	9 (8%)	6 (4%)	19 (12%)
息子	51 (42%)	42 (36%)	48 (30%)	36(22%)
娘	18 (15%)	27 (23%)	31 (20%)	22 (14%)
息子の配偶者	3 (2%)	1 (1%)	0 (0%)	3 (2%)
娘の配偶者	0 (0%)	0 (0%)	2 (1%)	0 (0%)
兄弟姉妹	3 (2%)	3 (3%)	4 (3%)	6 (4%)
孫	4 (3%)	3 (3%)	3 (2%)	3 (2%)
その他	7(6%)	4 (3%)	11 (7%)	3 (2%)

※( )内は全体に占める割合

養護者(虐待者)の属性において、令和5年度は夫からの虐待割合が増加した(8ポイント)。

虐待者の構成は夫・息子・娘で概ね8割である。

## 2 養護者による高齢者虐待の状況

暫定値

法施行年度  
平成18年度

		平成18年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
通報・届出	件数(実数)	136	200	236	321	372		
	通報者(重複有)	介護支援専門員・事業所職員	53 (39%)	84 (42%)	119 (50%)	132 (41%)	123 (33%)	
		近隣住民	14 (10%)	7 (4%)	6 (3%)	7 (2%)	12 (3%)	
		民生委員	32 (24%)	8 (4%)	7 (3%)	13 (4%)	6 (2%)	
		被虐待者本人	12 (9%)	15 (8%)	20 (8%)	15 (5%)	26 (7%)	
		家族・親族	12 (9%)	28 (14%)	31 (13%)	28 (9%)	35 (9%)	
		虐待者自身	0 (0%)	7 (4%)	6 (3%)	3 (1%)	4 (1%)	
		行政職員・警察	10 (7%)	47 (24%)	45 (19%)	114 (36%)	159 (43%)	
		その他	20 (15%)	4 (2%)	3 (1%)	9 (3%)	7 (2%)	
計	153	200	237	321	372			
事実確認の際に立入調査をした件数		1	0	0	0	0		
虐待と認定した件数		98	112	108	147	155		
虐待(重複有別)	身体的虐待	45 (46%)	88 (79%)	79 (73%)	107 (73%)	117 (75%)		
	介護・世話の放棄・放任	39 (40%)	22 (20%)	28 (26%)	20 (14%)	19 (12%)		
	心理的虐待	24 (24%)	40 (36%)	26 (24%)	60 (41%)	47 (30%)		
	性的虐待	0 (0%)	3 (3%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)		
	経済的虐待	34 (35%)	13 (12%)	11 (10%)	20 (14%)	11 (7%)		
計		142	166	145	207	194		
被虐待者の情報	性別	男	16 (16%)	25 (22%)	18 (17%)	24 (16%)	33 (21%)	
		女	82 (84%)	89 (79%)	94 (87%)	127 (86%)	122 (79%)	
	年齢	65歳~69歳	11 (11%)	5 (4%)	7 (6%)	11 (7%)	7 (4%)	
		70歳~79歳	40 (41%)	43 (38%)	29 (27%)	58 (39%)	51 (33%)	
		80歳~89歳	39 (40%)	56 (50%)	62 (57%)	67 (46%)	85 (55%)	
		90歳以上	8 (8%)	11 (10%)	14 (13%)	15 (10%)	12 (8%)	
		不明	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	
	介護認定情報	自立・未申請		30 (31%)	19 (17%)	26 (24%)	32 (22%)	34 (22%)
		要介護認定済みのもの		68 (69%)	96 (86%)	83 (77%)	115 (78%)	121 (78%)
		要介護度	要支援1・2	9 (9%)	13 (12%)	7 (6%)	18 (12%)	19 (12%)
要介護1~3			44 (45%)	72 (64%)	61 (56%)	83 (56%)	85 (55%)	
要介護4・5			13 (13%)	11 (10%)	15 (14%)	14 (10%)	17 (11%)	
不明			2 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	
認知症度	自立・I	17 (17%)	21 (19%)	19 (18%)	38 (26%)	35 (23%)		
	II以上	44 (45%)	74 (66%)	63 (58%)	76 (52%)	86 (55%)		
	不明	7 (7%)	1 (1%)	1 (1%)	1 (1%)	0 (0%)		
同居	養護者と同居	79 (81%)	97 (87%)	102 (94%)	128 (87%)	141 (91%)		
	養護者と別居(不明含む)	19 (19%)	18 (16%)	10 (9%)	23 (16%)	14 (9%)		
虐待者(重複有)	(養護者)虐待者	夫	14 (12%)	30 (25%)	27 (23%)	53 (34%)	67 (42%)	
		妻	6 (5%)	6 (5%)	9 (8%)	6 (4%)	19 (12%)	
		息子	48 (42%)	51 (42%)	42 (36%)	48 (31%)	36 (22%)	
		娘	18 (16%)	18 (15%)	27 (23%)	30 (19%)	22 (14%)	
		息子の配偶者	7 (6%)	3 (2%)	1 (1%)	0 (0%)	3 (2%)	
		娘の配偶者	3 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1%)	0 (0%)	
		兄弟姉妹	2 (2%)	3 (2%)	3 (3%)	4 (3%)	6 (4%)	
		孫	6 (5%)	4 (3%)	3 (3%)	3 (2%)	3 (2%)	
		その他	10 (9%)	7 (6%)	4 (3%)	11 (7%)	3 (2%)	
計		114	122	116	157	159		
対応状況	分離した事例(最初に行った対応)		39	50	44	67	63	
	契約による施設入所等		10	24	18	29	28	
	老人福祉法による措置		10	2	1	2	0	
	緊急一時保護		3	3	3	7	5	
	医療機関へ入院		11	11	18	20	21	
	その他		5	10	4	9	9	
	分離していない事例(内訳は重複有)		49	67	71	77	80	
	助言・指導		35	42	49	55	40	
	サービス利用		30	31	35	34	28	
	見守り		5	10	5	13	15	
	成年後見制度利用		7	12	7	15	10	
	うち市長申立て		4	10	5	6	7	
	日常生活自立支援事業利用(地域福祉権利擁護事業)		5	3	0	0	2	

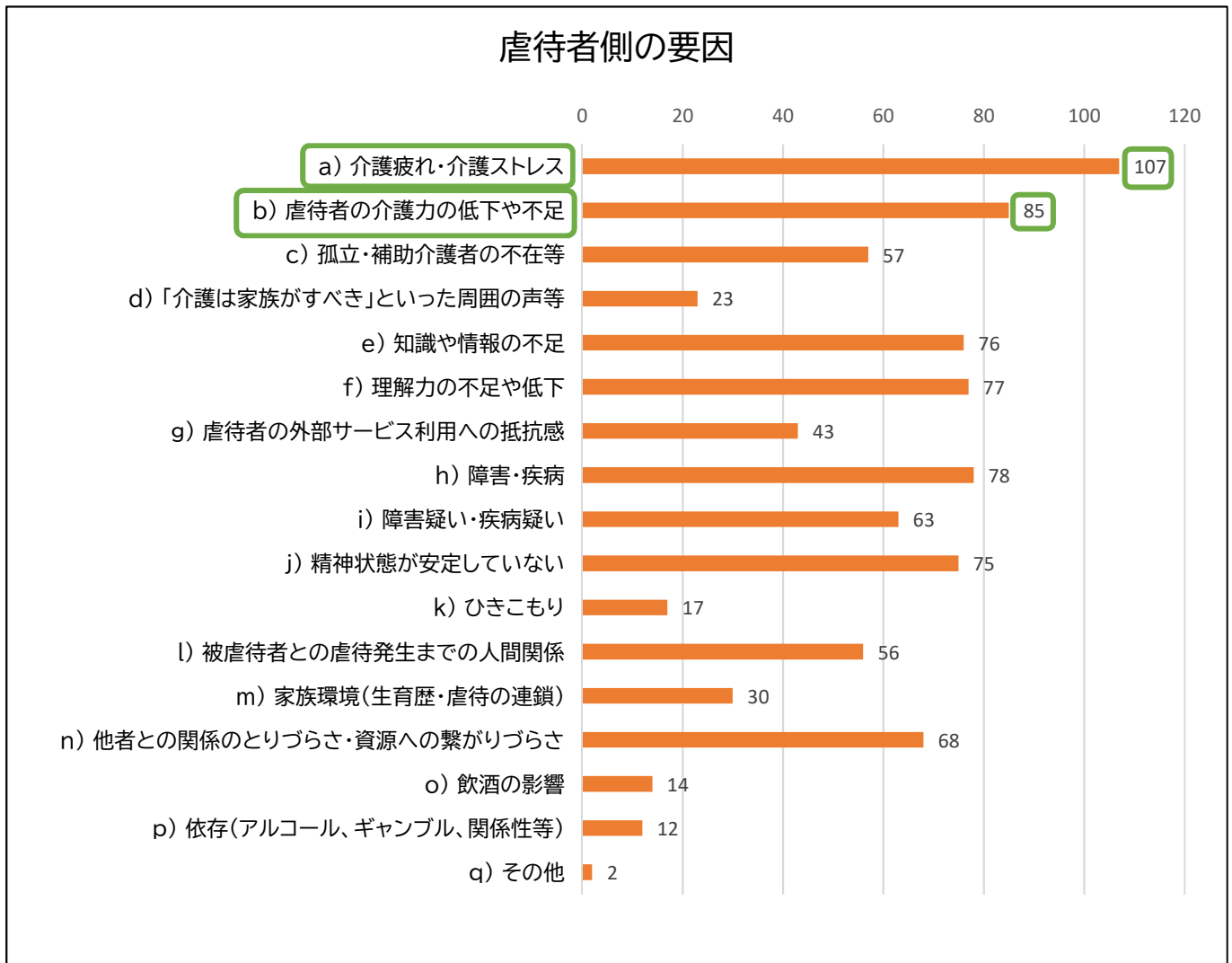
※対応状況については、対象年度以前に通報受理した事例のうち今年度に対応したものを含む

※26年度より国統計の変更のため、虐待判断時点ですでに分離状態の場合は、分離した事例に計上していない

### 3 虐待の状況分析

#### (1) 虐待者側の要因

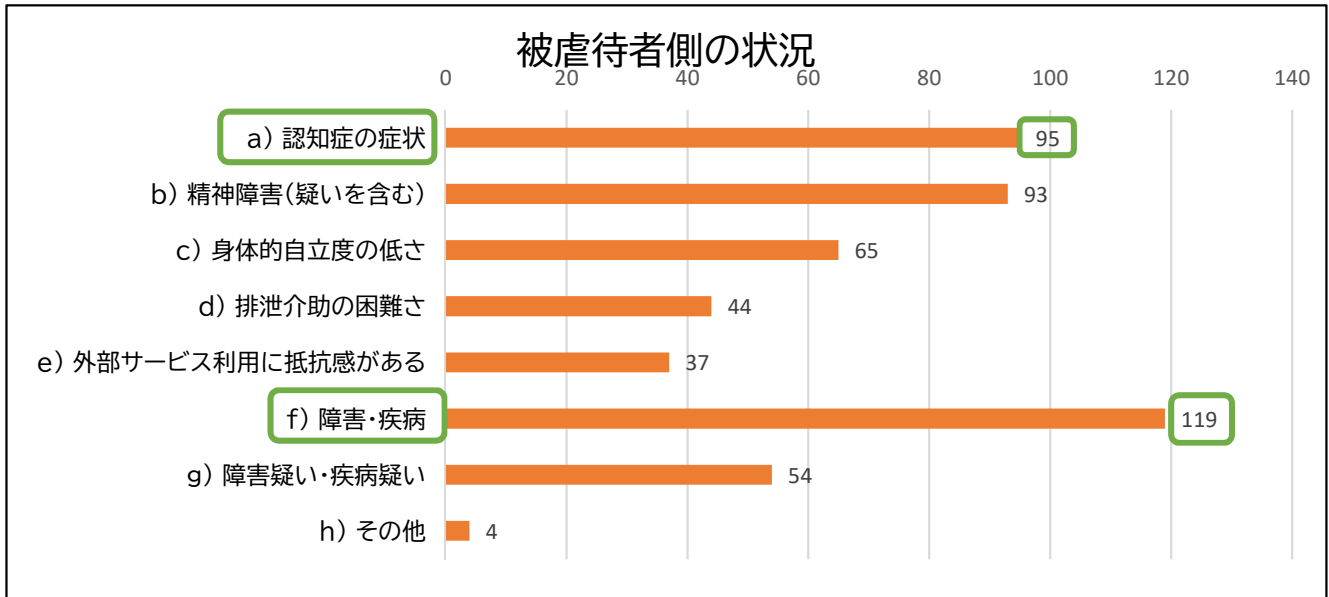
虐待者側の要因としては「介護疲れや・介護ストレス」が最も多く、  
ついで「虐待者の介護力の低下や不足」も多くなっている。



※調査対象年度に虐待と認定した事例の集計

## (2) 被虐待者側の状況

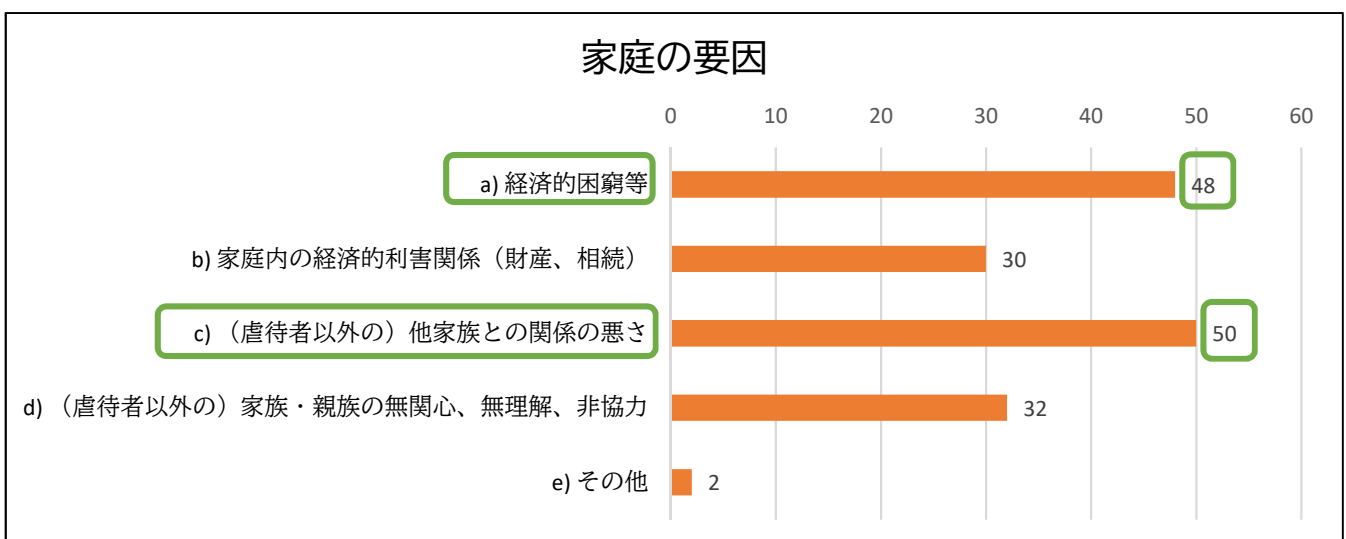
被虐待者側の状況は「障害・疾病」が最も多く、ついで「認知症の症状」も多くなっている。



※調査対象年度に虐待と認定した事例の集計

## (3) 家庭の要因

家庭の要因は「(虐待者以外の)他家族との関係の悪さ」が最も多く、ついで、「経済的困窮等」が多くなっている。



※調査対象年度に虐待と認定した事例の集計

## 4 高齢者虐待の状況

厚生労働省が公表した「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果で、全国、県及び本市の比較は次のとおり。

### (1) 養護者による高齢者虐待状況

	年度	H30	R元	R2	R3	R4
全国	認定数	17,249	16,928	17,281	16,426	16,669
	相談・通報件数	32,231	34,057	35,774	36,378	38,291
	高齢者1万人あたりの認定数	4.85	4.72	4.82	4.56	4.60
	高齢者人口 (単位：万人)	3,558	3,589	3,584	3,602	3,623
福岡県	認定数	480	449	482	445	506
	相談・通報件数	930	967	958	1,017	1,211
	高齢者1万人あたりの認定数	3.41	3.15	3.44	3.17	3.49
	高齢者人口 (単位：万人)	140.8	142.5	140.0	140.6	144.9
本市	認定数	117	108	112	108	147
	相談・通報件数	216	206	200	236	321
	高齢者1万人あたりの認定数	4.06	3.72	3.85	3.70	5.07
	高齢者人口 (単位：万人)	28.8	29.0	29.1	29.2	29.0

※高齢者人口は、各年の10月1日現在



(2) 養介護施設従事者等による高齢者虐待状況

	年度	H30	R 元	R 2	R 3	R 4
全国	虐待認定数	621	644	595	739	856
	相談・通報件数	2,187	2,267	2,097	2,390	2,795
	要介護・要支援認定者 1千人あたりの 虐待認定数	0.10	0.10	0.09	0.11	0.12
	要介護・要支援 認定者数(千人)	6,437	6,594	6,693	6,865	6,944
福岡県	虐待認定数	22	24	20	27	27
	相談・通報件数	85	86	75	77	81
	要介護・要支援認定者 1千人あたりの 虐待認定数	0.08	0.09	0.07	0.10	0.10
	要介護・要支援 認定者数(千人)	266	270	272	276	281
本市	虐待認定数	4	6	3	3	8
	相談・通報件数	31	24	24	24	14
	要介護・要支援認定者 1千人あたりの 虐待認定数	0.06	0.09	0.05	0.04	0.12
	要介護・要支援 認定者数(千人)	65	66	66	67	66

※要介護・要支援認定者数は、各年の4月末現在

## 5 令和5年度養介護施設従事者等に対する高齢者虐待防止の取組みについて

### (1) 養介護施設従事者等による高齢者虐待（疑）の通報状況

相談・通報件数	13件	
虐待が確認されたもの 2件	サービス種別	定期巡回・随時対応型訪問介護看護（1件） 介護付有料老人ホーム（1件）
	虐待種別	身体的虐待（2件）
虐待の事実が認められ なかったもの 11件	サービス種別	介護老人福祉施設（2件） 住宅型有料老人ホーム（1件） 介護付有料老人ホーム（1件） 認知症対応型共同生活介護（4件） 介護老人保健施設（2件） 地域密着型通所介護（1件）

### (2) 養介護施設従事者に対する高齢者虐待防止の取り組み状況（令和5年度）

#### ア 介護サービス従事者研修

##### 権利擁護・高齢者虐待防止に関する研修

研修名	回数	受講者数	講義内容
成年後見制度の基本理解	2回	51人	・成年後見制度
身体拘束廃止セミナー	2回	120人	・身体拘束適正化のための方策を学ぶ
身体拘束廃止の適正化のための 指針作成	1回	71人	・身体拘束廃止の適正化のための指針 作成の実際
高齢者虐待防止セミナー	2回	117人	・高齢者施設における個人の尊厳を支 える実践
高齢者虐待防止のための指針 策定の実際	2回	104人	・高齢者虐待防止のための指針策定の 実際
合 計	9回	463人	

#### イ 認知症ケアにあたる専門的な研修

研修名	回数	受講者数	講義内容
認知症介護基礎研修※	—	—	・認知症の理解と対応の基本 ・認知症ケアの実践上の留意点
認知症介護実践者研修等	13回	312人	・介護サービス事業所における指導者 や介護実務者を対象に、認知症高齢者 の介護に関する知識や技術の習得

※認知症介護基礎研修は令和3年度より、指定団体（認知症介護研究・研修仙台センター）が  
eラーニングで実施。